

「新しい人 パート6」

コロサイ人への手紙 4章2~6節

1

目をさまして、感謝をもって、たゆみなく祈りなさい。同時に、私たちのためにも、神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。この奥義のために、私は牢に入れられています。また、私がこの奥義を、当然語るべき語り方で、はっきり語れるように、祈ってください。

外部の人に対して賢明にふるまい、機会を十分に生かして用いなさい。あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。コロサイ4:2-6

2

また、あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのようなものか、聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか、また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように。エペソ1:18-19

3

キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。コロサイ3:15-17

4

祈りによって

- たゆみなく=ひたすら 祈りなさい 2017訳、口語訳
- 望みを抱いて喜び、患難に耐え、絶えず祈りに励みなさい。ローマ12:12 3版
- そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをしパンを裂き、祈りをしていた。使徒2:42 いつも(2017)、ひたすら(口語)、熱心であった(新共同)。
- いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。1テサロニケ5:16-18

5

祈りによって(祈り合う)

- パウロの祈りのリクエスト
- 「牢獄から出られるように」?
- さて、兄弟たち。私の身に起こったことが、かえって福音を前進させることになったのを知ってもらいたいと思います。私がキリストのゆえに投獄されている、ということは、親衛隊の全員と、そのほかのすべての人にも明らかになり、また兄弟たちの大多数は、私が投獄されたことにより、主にあって確信を与えられ、恐れることなく、ますます大胆に神のことばを語るようになりました。ピリピ 1:12-14

6

祈りによって(祈り合う)

- 神は聖徒たちに、この奥義が異邦人の間にあってどのよう**に**栄光に富んだものであるかを、知らせたいと思われたのです。この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。コロサイ1:27
- 「あなたの家、あなたの家族のところに帰り、主があなたに、どんなに大きなことをくださったか、どんなにあわれんでくださったかを知らせなさい。」マルコ5:19
- 「獄中書簡」(エペソ、ピリピ、コロサイ、ピレモン)

7

行動と言葉によって

- それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、だれかがほかの人に不満を抱くことがあっても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全なものです。コロサイ3:12-14

8

行動と言葉によって

- 外部の人に対して賢明にふるまい(知恵をもって行動しなさい、2017)
- 機会を十分に生かす
- 自分の目的ではなく神の目的のため
- 神のミッション(使命) 神のしもべとして
- 神の目的のため、神と一緒に、神の力で
- 「地の塩、世の光」伝道

9

行動と言葉によって

- 「常に伝道しなさい。必要であれば言葉を使いなさい。」フランチェスコ 1ペテロ3:1
- いや、たとい義のために苦しむことがあるにしても、それは幸いなことです。彼らの脅かしを恐れたり、それによって心を動揺させたりしてはいけません。むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。ただし、優しく、慎み恐れて、また、正しい良心をもって弁明しなさい。 1ペテロ3:14-15, 1

10

行動と言葉によって

- クリスマン生活=神を信頼して生きる+神の信頼に答えて生きる。
- 神と一緒に、神の仕事(ミッション)のため、神の力で生きる。
- 神の力と神の心で生きる。
- 神のようになる(神のこどもの成長)
- 神は伝道的、宣教的、だから私たちも。

11

外部の人に対して賢明にふるまい、機会を十分に生かして用いなさい。あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。
コロサイ4:5-6

12